



学校だより



2024年 3月 25日
横浜市立港南台第一小学校
学年末号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771
URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandai/>



感謝の思いを次の一步に

校長 海老原 真

春分の日をはさみ、花冷えのする日が続きましたが、学校の正門や校庭にある桜の新芽は、これから訪れる本格的な春の到来を今か今かと待ち望んでいるように感じます。

先週19日(火)には、第50回卒業証書授与式が、体育館にて行われました。ピシッとした荘厳さの中にも、保護者の方々や地域にも関わる学校運営協議会の方々、そして教職員の温かさが感じられる、感謝と感動の伝わる式でした。長いようで短くもある小学校段階の6年間、しっかりと見守り、育ててくださった保護者の方々や地域の方々の支えには、本当に心より感謝申し上げます。109名の卒業生全員が、中学校という新たな舞台で、自分に自信をもち、より一層輝いていってくれることを心から願ってやみません。

また、本日25日には、令和5年度の修了式を行い、一年間の教育活動を終えました。子どもたち一人ひとりの成長の幅に違いはありますが、一年という長い時間軸で捉えると、個々の変化や進歩はとても大きく、その成長ぶりには目を見張るものがあるように思えます。子どもたち一人ひとりが、次の学年に進むこの時期に、一年間をしっかりと振り返り、自らの成長と次への課題を改めて考え、4月を迎えられるとよいと思っています。

学校としては、本年度も学校教育目標に『みがき 認め合う 輝く 一小の子』を掲げ、教職員一同が連携しながら教育活動に取り組んで参りました。学校説明会等でもお伝えしている通り、子どもたちの豊かで健やかな成長のための教育活動は、決して学校だけで成し得るものではありません。学校・家庭・地域がともに手を取り合い、同じ方向を向きながら連携・協働して教育活動に取り組んでいく必要があります。来年度も、『ともに育つ ともに育てる』意識を共有しながら、ご理解とご協力、そしてご支援のほど、改めてよろしくお願いいたします。

「お別れ式」での卒業生代表・海老名 真優さんの言葉 (一部抜粋)

今から6年前の4月。私たちが1年生になる時、不安と期待の中、初めてのクラスメイトと教室に踏み入れた一步は世界に比べればささいなことですが、私にとってはとても大きな一步に感じられました。その時から、「この学校で、新しい友達と一緒に学んでいくのだな。」という実感が湧いてきました。そして授業を受けた時、これから様々なことを学んでいき、知らなかったことを知っていくという希望を感じました。

新型コロナウイルス感染症がはやり始めると休校になってしまいました。家で勉強することになったり、クラスを午前と午後のグループに分けることになったりしたこともありましたが、友達と会えること、勉強ができることの大切さを改めて感じました。

そして6年生。最高学年になり、下学年の役に、より立てるようになる嬉しさや、それに伴う責任感は今でも忘れてはいません。この6年間で大きく成長することができました。

在校生の皆さん、今までスポーツフェスティバルなど、様々な行事をやってきました。そのような時、楽しく関わってくれてありがとうございます。また、学校生活では自分の気持ちを大切にしていってください。そして、その気持ちが大切なことだと思ったら、行動に表していってください。

第一小の先生方、私たちをここまで支えてくれてありがとうございます。小学校で学んだことを胸に、これからの生活も頑張ります。6年間ありがとうございます。